

氏名	生 田 全
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲 第 605 号
学位授与の日付	昭和61年 3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系眼科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	上斜筋麻痺に対する上斜筋縫縮術に関する研究 第1報 頭部傾斜時における両眼の反対回旋の協調性に与える影響 について 第2報 頭部傾斜時における両眼の反対回旋の角速度に与える影響 について
論文審査委員	教授 小倉義郎 教授 堀 泰雄 教授 中山 沃

### 学位論文内容の要旨

上斜筋麻痺に対する上斜筋縫縮術の効果を判定するために、17例の上斜筋麻痺に対し麻痺眼の上斜筋縫縮術を第1眼位の上下偏位 $1^{\circ}$ につき $0.8 \sim 2.0 \text{ mm}$ 施行し、手術成績を頭部傾斜時の両眼の動的反対回旋も含めて検討した。

1. 上斜筋麻痺に対する麻痺眼の上斜筋縫縮術は、上下偏位及び回旋偏位の矯正に有効であった。
2. 術前、頭部患側傾斜時の両眼の反対回旋の協調性が不良であった12例では、9例に両眼の協調性の改善が認められた。また、頭部健側傾斜時の両眼の協調性が悪化した症例はなかった。
3. 術後は頭部患側傾斜時の両眼の反対回旋の健眼の角速度が減少し、健眼と麻痺眼の角速度の差が減少した。著明な下斜筋の過動が存在しない限り、第1眼位における上下偏位を目標として上斜筋の縫縮を行なうことにより、両眼の協調性は改善され、結果として頭部傾斜時の上下偏位も矯正されると考えた。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は眼科手術学領域における上斜筋麻痺の手術療法について実験的ならびに臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった手術効果判定法としての頭部傾斜時

の両眼反対回旋計測の適応について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。